

チャペル週報

No.6

2021.5.24～5.28

「狭い門から入りなさい。滅びに通じる門は広く、その道も広々として、そこから入る者が多い。しかし、命に通じる門はなんと狭く、その道も細いことか。それを見いだす者は少ない。」

(マタイによる福音書 7章13－14節)



ブランチ・メモリアル・チャペル (現 神戸文学館)

<春季宗教運動特集号>

関西学院宗教センター

ベーツ先生の別れの手紙

嶺重 淑

本学では毎年5月に「建学の精神」を総主題として大学合同チャペルを行っているが、「建学の精神」と聞いてまず思い浮かぶのは、Mastery for Service（奉仕のための練達）というスクールモットーであろう。このスクールモットーは第4代院長のベーツ先生によって提唱されたが、もちろんベーツ先生の「功績」はそれに留まるものではなく、特に1920年以降は院長として20年にわたって学院において中心的な役割を果たされ、その結果、関西学院は大きく発展することになった。

その後、日本が戦争への道を突き進んでいく状況の中で、ベーツ先生は1940年暮れに帰国を余儀なくされるが、その別れに際してベーツ先生が卒業生に宛てて記した手紙（帰国挨拶状）が残されている。一方では、長年過ごしてきた日本、そして関西学院を去らねばならない寂しさと辛さ、しかし他方においては、自分たちが今帰国することは自然の道理であり、神の導きなのだ、その厳しい現実を前向きに受け止めようとする思い。さらには、自分は為しうること、は為してきたという自負と満足感、日本滞在中に出会った人々に対する深い愛情と心からの感謝の思い、そしてまた、学院の将来を残された人々に託そうとする思い等々、この時のベーツ先生の様々な思いがこの手紙には表現されている。しかし、注目すべきことに、長年にわたって学院のために尽力し、多くのことを成し遂げてこられたご自分の輝かしい足跡についてはここにはまったく触れられておらず、手紙全体が、学院の発展はひとえに神の恵みの賜物であるという確信と、すべてを神の栄光に帰そうとする姿勢で貫かれている。そして何より、関西学院を長年導いてきた偉大なリーダーであるにもかかわらず、卒業生一人一人に対して親しく「友」と語りかけられている。まさにこの手紙からも、ベーツ先生ご自身が日頃からMastery for Serviceの精神を自ら実践されていたこと、そしてまた、困難な状況の中にあっても学院のために最後まで誠心誠意尽くそうとされていたことがありありと伝わってくる。

（大学宗教主事）

ウェスレーと病人訪問—マスターリー・フォア・サービスの源流

土井健司

メソジスト運動をひらいた英国のジョン・ウェスレー（1703年—91年）は、生涯を伝道に奉げ、教会のなかに閉じこもることなく、外にでて、民衆とともに歩んだ人であったといえます。メソジスト運動には、毎週の1ペニー献金など組織的に救貧の実践が含まれており、ウェスレー自身、施設の建設、献金、治療器具の発明等など、熱心にこれに取り組んだのでした。

かれの晩年の説教のなかに「病人を見舞うこと」というものがあります（第98説教）。これは1786年3月23日になされたもので、マタイ福音書25章40節のなかの一句を取り上げています。ウェスレー神学の特徴のひとつは、ルター的な信仰義認だけでなく、よき行為を積極的に推奨した点にあります。

「しかし恵みの手段とは敬虔の業だけなのか。・・・たしかに、敬虔の業と同じように憐みの業がある。それらは事実、恵みの手段となる。とくに真直ぐな眼差しで実践する人びとによって一層そうである。」

ここで神の恵みを受け取る道・手段として、礼拝出席などの「敬虔の業」を挙げつつ、もう一つ、「憐れみの業」を指摘し、信仰はこの業をとおして確かなものになるといいます。その際、ただ表面的に行うのではなく、晴朗な心、真直ぐな心が大事だといえます。こうしてウェスレーは各自が自ら病人を見舞うようにと強調します。自分などが行っても何もならないと思ってしまうのではなく、誰であれ、病人を見舞うように、病人と直に関わるようにと勧めるのです。説教の最後は「はじめよう、わが最愛の兄弟姉妹たちよ、はじめよう。」と結びます。

83歳になる老ウェスレーが力を込めて語っている姿が想像されました。

コロナ禍のなか、いま病人を見舞うことは容易ではありません。見舞うことはできなくとも、せめて日々の祈りのなかで覚えていたいと思うのです。そして今週の5月24日は、ウェスレーの回心記念日にあたります。関西学院はメソジストの流れをくむ学校なのですが、そのメソジストの原点ともいえるウェスレーの回心記念日を覚え、コロナ禍のなか、病に苦しむ人ために祈りましょう。

(神学部長)

チャペルアワー スケジュール

西宮上ヶ原キャンパス、西宮聖和キャンパス・・・10:30-11:00
神戸三田キャンパス・・・10:40-11:10

5/24 月

神 ペンテコステ礼拝 小田部進一(神学部教授)
経 李 相勲 (宣教師)
人 松岡克尚 (人間福祉学部教授)
建 Bridge for Children, KGU/国内ボランティアサークル「つなぐ」

25 火

大学合同チャペル「総主題：建学の精神」 10:30 より配信
「ベーツ先生の別れの手紙」 嶺重 淑 (大学宗教主事)
URL : <https://www.youtube.com/channel/UCNIjhUyBcxy-srch5PjtgLw/>

26 水

大学合同チャペル「総主題：建学の精神」 10:30 より配信
「ウェスレーと病人訪問—マスター・フォア・サービスの源流」
土井健司 (神学部長)
URL : <https://www.youtube.com/channel/UCNIjhUyBcxy-srch5PjtgLw/>

27 木

文 オンデマンドにて実施。アクセス先は文学部 HP に掲載
社 ボランティア活動支援センター
対面人数限定のため、社会学部生以外で Zoom 参加希望者は事前に
<https://forms.office.com/r/5XwaYDaArA> から申し込んでください。
法 NPO 法人かめのすけ
経 *5/26 (水) の大学合同チャペルに合流するため経済学部単独のチャペルはなし
商 木原桂二 (宗教主事)
*オンラインにて実施 URL: https://www.kwansei.ac.jp/s_ba/s_ba_003010.html
人 橋本直子 (人間福祉学部准教授)
国 Chapel in English Eun Ja Lee (宣教師)
総 村瀬義史 (宗教主事)
聖和 聖和創立記念を覚えて 森本宮仁子 (非常勤講師)

28 金

神 李 相勲 (経済学部専任講師、宣教師)
文 オンデマンドにて実施。アクセス先は文学部 HP に掲載
経 経済学と聖書⑧ 井口 泰 (経済学部教授)
院 *オンラインにて実施。アクセス先は経済学部 HP に掲載
理・工・生環 響き合う④ 井上 智 (宗教センター宗教主事)
Christian Triebel (宣教師) (オンライン実施: KG_STBE_chapel で検索)

◇ランバス早天祈祷会 毎週金曜日 8:10~8:30 Zoomにて開催
5月28日(金) 「総合政策学部のために」 古川靖洋(総合政策学部長)

ZoomのURL, ID, PWについて、学生で興味のある方は shukyocenter@kwansei.ac.jp 宛に「学籍番号」「氏名」をメールしてください。教職員はパブリックフォルダをご確認ください。

- ボランティアに関心がある皆さんへ（ヒューマン・サービス支援室からお知らせ）
- ・ ヒューマン・サービス支援室では、単発でのボランティア活動や継続して関わるボランティア団体・ボランティアサークルの紹介を行っています。「何をしたらいいかわからない」という人も、コーディネーターと一緒に話しながらボランティアを探せるので、ぜひご来室ください。

[開室日程]

西宮上ヶ原キャンパス：平日 8:50～16:50

神戸三田キャンパス：平日火・水・木曜日の 10:30～17:00（授業期間中のみ開室）

- ・ 支援室と一緒にボランティアを盛り上げる仲間、学生コーディネーター（学生 C0）を募集します。詳細は HP をご覧ください。

https://www.kwansei.ac.jp/c_volunteer/news/detail/134

- 関西学院会館ベーツチャペル日曜礼拝
授業期間中の第二・第四日曜日（原則）の 10:00～11:00 に関西学院会館ベーツチャペルでは日曜礼拝を行っております。
どなたでも（クリスチャンでなくとも）ご参加できますのでどうぞお越しください。

6月13日（日）10:00～11:00

6月27日（日）10:00～11:00

※休会あるいは時間短縮とする場合がありますので、念のため
関西学院会館予約センター（TEL 0798-54-6013）にご確認ください。

- CD・DVDライブラリー利用について
吉岡記念館事務室宗教センターには、教会音楽、キリスト教に関するCDやDVDを備えています。本学学生及び教職員（学生証または身分証明書必要）であればどなたでも利用できますので、希望者は事務室までお越しください。

- 盲導犬育成のためご協力をお願いします
関西学院宗教活動委員会は、目の不自由な方々の社会参加促進を願い、社会福祉法人「日本ライトハウス」の募金活動に協力しています。吉岡記念館事務室はじめ各学部カウンターに募金箱を用意しておりますので皆様の温かいご協力をお願いいたします。

- 「チャペル週報」バックナンバーについて
2005年度以降のバックナンバーは下記で閲覧できます。

URL：https://www.kwansei.ac.jp/c_christian/c_christian_001157.html

関西学院宗教センター

https://www.kwansei.ac.jp/c_christian/index.html